

ビブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校
編集 図書委員会 ビブリア編集部
平成2年7月20日

福島高専図書館報第68号

巻頭言

読む工夫と読ませる工夫

山崎数彦

私が前回(昭和60年7月)ビブリアの巻頭言を執筆したとき、本校の学生の図書利用率は全国高専の中でも上位にあると図書係長から聞きそのことを紹介した。しかし、その後のビブリアの記事によると、本校の学生の図書利用率(冊数)は徐々に低下しているとのことである。実際にどんな経過をたどっているかを数字で確かめてみると、S.52-56年度の5年間の年平均は約11,000冊であるが、57年度には一挙に40パーセント以上低下して6,144冊になり、以後S.57-63年度の7年間の年平均は、5,770冊となっている。S.63年度は5,490冊で最小の記録である。

理由が何であれ世間一般に言われている「図書離れ」とはこのようなことなのかと大変驚かされる。

さて、ビブリア誌上では当然のことながら「読書の薦め」、「利用上の改善計画や提案」などが記事になっているが、今回は図書の利用に関して一利用者としての私なりの感想を述べたいと思う。

(その1) 図書への「書き込み」が気になる。鉛筆で書いたものだけでなくボールペンで書いたものもあり、想像するに、自分のものであると錯覚したのであろうか。図書館の図書を利用するときは「書き込み」をしないと、いうことは図書館を利用する際に最低限守るべき基本事項であることを

わずかの学生であろうが注意したい。

(その2) すでに、ビブリア誌上で紹介されているように、もし、それなりの予算がつけばOA、AV機器の導入や館内の改装などによっていろいろな面で格段の改善がえられることは当然であろう。しかし、それまでの間に手をつけられること、しかも将来とも継続して効果のあることがあると思う。

たとえば、すでに学生が利用しつくして?ボロボロになっている(補修されているが特別に必要ななければとても借り出そうという気持ちになれないような)本が自然に立った丁度目の高さに、かと思えば新刊の図書が、エイヤッとかがまなければタイトルも見にくい低いところに配列されているところがある。また、技術の現状から考えて利用されるチャンスが大変に少ないと思われる本が、しかも、おなじタイトルの本が何冊も並んで配架されているところがある。つまり、利用者から見れば利用の度に利用しない多くの本の間から利用したい僅かの本を捜しているようなことになっているのではないか。

このような状況は、利用させる側の立場で考えても「読ませたい本をなんとか読ませよう」という気持ちがあるであろうから「できるだけ人目につき易く」したいと考
(次頁に続く)

目次

巻頭言	山崎数彦	・・・	1	図書館改修計画のあらまし(2)	・・・	11
卒業生が推す1冊		・・・	2	新着図書リスト	・・・	12
リサイクル文庫		・・・	10			

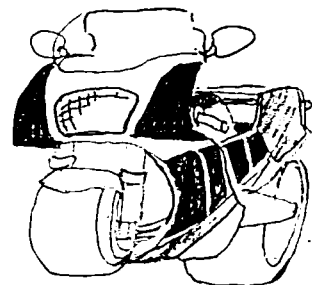
えるのが自然であろう。
 本校の図書館の蔵書内容に合った配架方法を工夫することでもっと便利に利用できると思うがどうであろうか。
 このようなことは「誰かがやらねば誰かやる」と決意をして、誰かが実行しないと、

進展しない。このケースはやはり図書委員会の適切な指導と学生図書委員の活動に期待をすところ大であり、実施にあたっては多くの一般学生利用者も協力するようでありたいものである。

(電気工学科教官)

卒業生が推す一冊

去る3月、本校を巣立った先輩が、後輩に薦める本の数々。マンガから専門的なマニュアルまで、実に幅が広い。そして、図書館にない本が圧倒的に多い。本校図書館の、図書選定基準を知るためにも、どしどし購入希望を出してはどうだろうか。(編集部)



機械工学科

青野 博

S. E. HINTON 中田耕治訳
 「アウトサイダー」

映画界の巨匠、フランシス・コッポラ監督「アウトサイダー」の原作本。現代には見られない、若者の激しいぶつかりあう心が読者に向かって問いかけてくる。

青山 邦雄

片岡 義男著 「コーヒーもう一杯」

コーヒーもう一杯飲む時間ってとても素晴らしい時間だと思いませんか。短くて5分、長くて30分、この本を相手に過ごしてみるのもなかなか良いものだと思います。

秋山 裕道

Gino Rancati 著
 ENZO FERRARI・THE MAN
 エンジニアならフェラーリ氏の生涯を知るのはいいと思う。あと、本田宗一郎氏に関する本も読んだほうがいいと思う。フェラーリの本に関しては、取りよせないとダメかもね。

荒川 春一

ハロルド作石著
 「ゴリラマン」
 優柔不断じゃない主人公がよい。

石井 隆治

森村誠一著 「真説忠臣蔵」
 この作品は、あの有名な忠臣蔵の物語を、推理作家として知られる著者が、巧みな描写で書き上げた時代小説である。ページを開いた瞬間から引き込まれるおもしろさがある。

伊藤 孝

ムーンライダーズ著
 ムーンライダーズ詩集
 薔薇がなくちゃ生きてゆけないヘンタイよい子はぜひ読んで下さい。

井上 浩

島田伸介著
 「風よ 鈴鹿へ」
 バイクに乗る人なら、一度は読むべき本である。

小川 仁一

比留間 久夫著
 「YES, YES, YES」
 夜の町をさまよう少年たちの甘く、残酷な愛の冒険

加藤 達也

「日本機械学会誌」
 最新技術のすべてがわかる!

菊地 正孝

開高 健著

「風に訊け」

こいつはきてるぜ！！

あと、酒井法子写真集もよろしく。

草野 太栄

ヘルマンヘッセ著

「車輪の下」

就職の課題図書として読んだのですが、大変感銘を受けました。何で勉強しなくちゃなんねーんだよー。そう思っている人は、1度読んでみて下さい。

斎藤 進

大友 康平著

「何をすましているんだ！！」

ハウンドドックが好きな人は必読である。

佐藤 光弘

作画 小山ゆう 原作 武田鉄矢

「おーい竜馬」

小説ではなく、漫画なので見やすく、分かりやすい竜馬のことが知りたいのなら、ぜひおすすめだと思う。ただし、まだ1巻から元巻までしかない。

渋谷 紀充

吉野 源三郎著

「君達はどう生きるか」

普段の生活に様々な疑問を抱くコベル君と、それを見守るおじさんとのやりとりを描く物事に対する見方を考える作品です。是非十代のうちに読んでほしい一冊です。

助川 憲二

村上 龍著

「'69(シックスティー・ナイン)」

僕達が生まれた時代に、高校生だった著者の様々なエピソードを書いたもの。

鈴木 健一郎

松尾俊和著

「冒険者たち」

次世紀を生き抜くキーワードが満載！

鈴木 健智

カフカ著

「変身」

短くて、すぐ読み終わるのでとりあえずどうぞ。

鈴木 直也

小山ゆう著

「がんばれ元気」

5年機械の必需品。一度は読もう。

鈴木 博

星野 富ひろ著

「愛深きふちより」

体育の先生が授業中に首の骨を折り、首から下が動かなくなってしまった。そのどん底の状態からまわりの人たちの愛によってささえられて、たちなおっていく。

大梁一義

林田 慎之助著

「人間三国志」

この本は、中国の三国時代に生きた人物達の生い立ちから死までを歴史書「三国志」をもとに書かれたものでみんなが知っているものとは違う観点から書かれたものです。

高山 修

企画室ネコ著

「月刊カーマガジン」

この本を毎月読んでみると、最近の日産自動車は、駄目だと見えてきます。80パーセントの自動車づくりを目指すメーカーから離れることを進めます。

武田 俊一

落合 信彦著

「20世紀最後の真実」

今でも活動が続けているナチス・ドイツについて書かれているノンフィクション作品です。我々の知らない世界が見えてきます。

田辺 智樹

五木 寛之著

「疾れ！逆ハンぐれん隊」

きっと、はまってしまおうでしょう。

沼田 泰明

レイモンド・カープナー著

「ぼくが電話をかけている場所」

アメリカのどこかで実際にありそうな普通で意外性のある話をさりげなくおちついた感じにまとめた短編集。

箱崎 幸夫

長谷川 洋介著

「これが21世紀の地球だ!!」

あと10年後に迫った21世紀はどんな時代になるのだろうか。生活は豊になるのだろうか。地球はどうなるのか。技術はどこまで進歩するのか。読めばわかる。

橋本 康三

小山ゆう著

「おい竜馬」

幕末の時に活躍した、あの坂本竜馬の一生をマンガにした本でゆるる幕末と竜馬を見事にあらわしている。マンガなので分かりやすく、とにかくおもしろい。

蛭田 彰

大西 清著

「機械設計製図便覧」

機械屋必修の1冊。

わからないことがあったら、こいつを開け

福田 健太郎

紡木 拓著

「瞬きもせず」

今には、めずらしい純粋な男女の成長する姿を学生生活から社会人になるまでの間、描いたもの。

星野 伸一

アリ・バタネン著

「一秒への挑戦」

もとWRC(世界ラリー選手権)チャンピオンの書いた感動の手記。多少読みづらい本ではありますが、毎日の生活に飽きた君、ぜひこれを読んで何かを見つけだしてくれ。

三津間 浩樹

宮本 輝著

「青が散る」

テレビの原作。青春してる!

矢吹 彰宏

S・キング著

「ベット・セマタリー 上下巻」

“スタンドバイミー”の原作者”キングオブモダンホラー”S・キングの作品で“あまりの恐ろしさに発表が見合わされた”とも言われた話題作である。超恐いよ。

山崎 佳紀

「スキーの」

スキヤー必読、

スキーのすべてがわかる、

山中 邦彦

堀内 真人著

「涙のバレエホール」

バレエボールの青春もの、感動するぜ。バレエ部のみなさんへお勧めします。

吉田 光一

E. Hemigway著

「The Old Man and the Sea」

ヘミングウェイの名作、自然の厳粛さと人間の勇気を描いた作品 男なら読め!

吉田 俊和

江戸川 乱歩著

「パノラマ島奇談」

「屋根裏の散歩者」

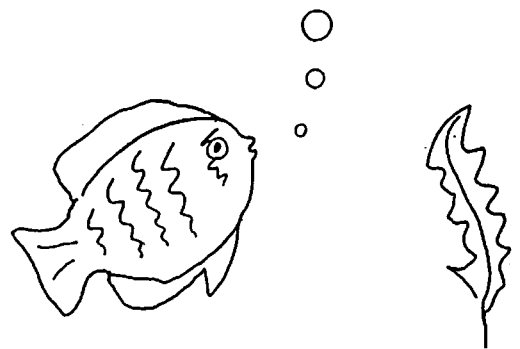
昭和初期の暗い世界に引きずり込んでくれる乱歩の小説を読んで、君も筋肉少女隊の大槻ケンチを目指そう!

渡辺 恭一

村上 春樹著

「ノルウェイの森」

興味がどんどんわいてくる本だ。



「十七才・春」

ボブ・グリーン 著

筆者の気持ちになってこの本を読んでいくと、だんだんと読んでいく自分がむなしくなってくる。でもおもしろい。

大塚 俊幾

「孔子」

井上 靖 著

¥2200には泣かされたが、最近売れているのでやはり読むと、おもしろいと思う。

沖名 哲

「CAR BOY」

Magazine For Battle On 'STREETS'

ドリキン土屋圭一のカニ走りは、まさに芸術である。

笈 真一朗

「路傍の石」

山本 有三 著

道德の教科書にも、一部分載っていましたが、吾一の生き方を君もみならないなさい！！

草野 淳

「オーラバトラー戦記」

読み込んでいくと不思議な世界に迷い込んでいってしまう、時空を越えたSFストーリー。テレビアニメ「ダンバイン」を見ていた人にはうれしい本です。

郡司 卓也

「CARトップ」

ドリキンのドリフト講座で君も完璧だ。

近内 秀充

「セイシュンの食卓」

たけだみりこと東京コリタニアン著

なんといってもまんががおもしろい。いろいろな食事がかいてあって、結構笑える本。

斎藤 奈津美

「PINK」

岡崎 京子 著

落ち込んだときに、どーぞ。

佐藤 正典

「Z-80 わかる機械語入門」

若松 登志樹 著

非常に分かりやすく、はじめてマシン語を勉強する方にピッタリです。

浅野 通直

「タウンマガジン I W A K I」

(株) アドプラン

いわきを知るにはこれが一番！

猪狩 伸行

「明治・父・アメリカ」

星 新一 著

青年期にアメリカに渡り、苦勞しながら勉強し実業家を目指す作者の父、星一の記録的小説。感動的一冊

石井 淳一

「岳物語」

椎名 誠 著

この本はいい。その証拠に化学科のA君も推薦しているはずだ。ついでに「日本真実細末端紀行」もおもしろいのでぜひ読んで欲しい。

石井 慶輝

「あいしてる」

守村 大 著

時代背景がかっこいい。

鉄馬もかっこいい

やっぱこれだっべ！！

井戸 敏文

「大志」

とんねるず 著

これを読めば、人生のサクセスストーリーについて勉強できる。

遠藤 浩司

「路上」

J・ケルアック 著

ビート小説の名作。これで君も道の上で暮らしたくなる。

「十年ゴム消し」

忌野 清志郎 著

特にコメントを避ける。

大柿 和行

「長いお別れ」

レイモンド・チャンドラー 著

ハードボイルド派の巨匠チャンドラーが、みずみずしい文体と非情な視線で男の友情を描き出した最高傑作。

志賀 隆則
「ローリングストーンズ大百科」
越谷 政義 著
デビューからのストーンズのレコードの歴史がわかる。
今が旬です。

島田 雅章
「月刊 自家用車」
車をもっと知りたい人におすすめ。

庄司 亮
「エロトピア」
若気の至り・・・それは右手の友。

鈴木 幸二
「リズム&ドラムスマガジン」
ドラムが上手になりたい方必見！！

鈴木 昇慈
「鏡の中の物理学」
朝永 振一郎 著
ノーベル物理学賞に輝く著者が、日常的な現象を通して科学と量子力学の基礎を分かりやすく説明していて、教科書からは得られないおもしろさがあります。

須藤 隆士
「Nineteen」
きたがわ 翔 著
恋愛の初心者に。一見すべし。

関根 雄一
「グイン・サーガ」
栗本 薫 著
長い・おもしろい・ひまつぶし
金がかかる！！
私は全巻読んだ。自慢。

高野 出
「ボーイフレンド」1～10巻
惣領 冬美 著
可奈子さんがとても良い。泣ける本だよ。

高橋 康基
「俺には俺の生き方がある」
加藤 諦三 著
新しい人生哲学の本。

千葉 信行
「エリック・クラプトンストーリー
ザ・サバイバー」

エリック・クラプトン監修
これを読め。
これが男の生きざまだ。

並木 悦二郎
「がむしゃら1500キロ」
浮谷 東次郎 著
バイク乗りなら一度は読むべきだ！

橋本 敏雄
「沈黙の艦隊」
かわぐち かいじ 著
日米関係が緊張している今、もしかしたらと思わせる設定で読み手を引き込んでいる。日米のやりとりがおもしろい。ぜひ一読を！！

平中 満
「ニューメディアで話す」
日本電気に就職を希望する人は後で感想文を書くようになってもいいように、読んでおくといいでしょう。

蛭田 光弘
「ニュートン」
現代科学の最新を知ることができる。特にホーキングの宇宙論がおもしろかった。

藤橋 豊和
「文化人類ギャグ」
相原 コージ 著
この本を読んだら、友達になってあげるよ。マージャン狂のとよかずをヨロシク。

古河 謙悟
「卒業研究報告書」
今度の5年生にはこれしかない！

村上 秀幸
「ギターマガジン」
これを読んで、ギターひいてミュージシャンをめざそう。

渡辺 貴
「ヤング・オート」
ヤンキーを目指すにはこの本しかない。



工業化学科

安齋 崇王

「岳物語」正・続

椎名 誠 著

著者の息子「岳」の物語です。
ちょっと変わった親子関係が面白いです。
正編・続編の順に読んで下さい。

岡田 一宏

「完全保存版4WDの世界」

アストロ出版

砂浜を駆け抜け、山を制覇したい君に贈る。
彼女はセカンド・シートでもうメロメロ。

菊池 克成

「ゲームの達人」上・下

シドニィシュエルダン 著

ファミコンがうまい人の話ではありません。
この面白さは読んだ人にしか分かりません!

草野 道子

「BANANAFISH」

吉田 秋生 著

別冊コミック連載中です。少女漫画とあなど
ってはいけません。一見の価値あり。

今野 勝弘

「Blue Jean」

くじらいいくこ 著

少年の心を理解していただきたいために大
人に読んでもらいたい。

佐藤 克明

「ラストダンスは裸足で」

喜多嶋隆 著

男と女には出会いがある。
それぞれの心は夏という風景の中で
まぶしいくらいの恋をする。こんな
恋に憧れている君に是非おすすめしたい。

佐藤 道善

「一杯のかけそば」

栗 良平 著

今の日本人が忘れかけているものがよみがえ
り、思わず涙がこぼれます。

高橋 宏和

「三四郎」

夏目 漱石 著

本をあまり読まない自分が、高専時代に読

んだ一冊である。ぜひ夏目漱石の本を読んで
欲しい。

滝 幸男

「風町通信」

竹下 文子 著

バイブル オブ メルヘン

たまにはこんなものを読んでみては…

田中 俊雄

「She's Rain」

「Early Autumn」

平中 悠一 著

まずは読んでみて下さい。
僕が個人的に好きな本2冊です。

田邊 貴弘

「70%の青空」

安西 水丸 著

巨匠 安西水丸画伯が描くストーリー

「黄色チューリップ」「ポストカード」も絶
品なり!!

寺門 龍一

「耳なし芳一」

小泉 八雲 著

この本は私が中学3年間で3回も読書感想文
を出した傑作です。読書感想文に悩まされた
人なら一目瞭然、是非どうぞ!!

二瓶 知倫

「俺たちのレクイエム」

? 著

もう、最高!!

野部 茂

「バタリロ」

魔夜 峰央 著

中学1年から現在に至るまでずっと読み続け
てきました。僕の青春のバイブルです。

馬上 雅春

「ハートブレイク"ヤッシ"はうまく踊れない」
Burning Bajo 著

卒業生に絶大な人気を得たこの作品は永
遠に不滅だ! B. B. のすばらしい作品は続
くであろう! Thank You!

松本 巧

「異邦人」

「ジュージュボスの神話」

カミュ 著

人間とは存在自体不条理である、という難しい本。授業中に読むとよく眠れます。

水竹 英士

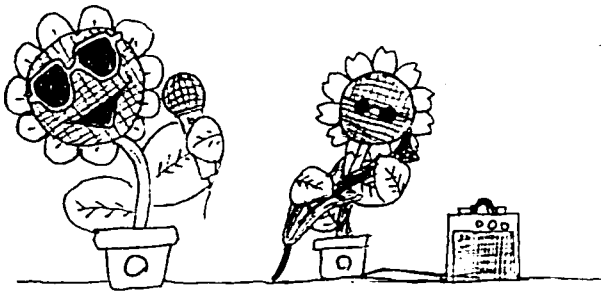
「MOONWALK」
MICHAEL JACKSON 著
天才の自伝！

水谷 圭

「L'Arrabbiata」
Paul Heyse 著
ラウレラとアントニーノの感動の愛の小説、
化学出身必読、私はこれで単位をもらった!!

茂又 さつき

「白鳥麗子でございます」
鈴木 由美子 著
一見タカビーな女ですが純粋な心がカワイイ。



土木工学科

会沢 信一

西村 肇 (筑摩書房)
「工学的な考え方(システム工学)などについて、専門書などとは違った観点から分かりやすく学べる一冊である。

青木 伸之

城山三郎 著 「落日燃ゆ」
元首相、広田弘毅の「自ら計らわぬ」生き方、そして人としての「責任」のとり方が書かれている本。

荒金 真聡

赤川次郎著「三毛猫ホームズシリーズ」
片山刑事と三毛猫ホームズの迷コンビが次々と難事件を解決するストーリー!!

柳沼 賢一

「あなたにここにいて欲しい」
「ひとめあなたに…」
新井 素子 著
数ある新井素子さんの作品の中でこの2冊は最高のSF(?)ロマンだと思います。
「…絶句」(上・下)、「扉を開けて」シリーズも捨て難い!!

矢田 友一

「三国志」
吉川 英治 著
出てくるキャラクターを通じて、人間学を学ぶことができます。人生の指針ともなる本と言えます。

渡辺 元午

「F」
六田 登 著
「ハートブレイク"ヤッシ"はうまく踊れない」
「完全保存版4WDの世界」に並ぶ作品で個人的に好きです。

安藤 正弘

「ゴースル」
オートバイの楽しみ方がいっそう広がるぜい。

猪狩 忠司

「めばえ」 (小学館)
禁断の書

伊藤 佳代子

ヘンリー・ペトロスキー著
「人は誰でもエンジニア」
エンジニアの方にはぜひおすすめです。

岩間 弘之

「文藝春秋」2月臨時増刊号
これを読まずして90年代の日本は語れない。

遠藤 隆行

「土木へのアプローチ」

書籍持込み可のテストの場合はなにかと役立つので、この一冊を是非持って行きましょう。

小川 徹

「竜の楯」

あなたの空想力を高める一冊だと思います。

片寄 仁

スティーブン・W・ホーキング著

「ホーキング・宇宙を語る」

宇宙のことをわかりやすく書いたということであったが、とてもわかりにくくJAROに訴えたいくらいすばらしい本であった。

金成 克弘

「文藝春秋」(2月臨時増刊号)

これを読まずして90年代は語れない。

木田 克

窪ノ内 英策著

「ツルモク独身寮」

マンガ。ありがち。ケケケケ

草野 博

矢沢永吉著「成り上がり」

君も男の中の男になれる。

小林 重則

村上春樹著「羊をめぐる冒険」上・下

村上春樹の世界を楽しんで下さい。

今野 一也

「サイクルワールド」

Rockers (洋書)

Rockersは“エゲレス”の単車乗りの基本。英語が読めたらもっと楽しいと思う。

作山 朋明

「広辞苑」(岩波文庫)

読んだことあるから読んでちょうだい。

佐々木 達也

椎名 誠著「ハーケンと夏みかん」

素朴な自然とのふれあいが最高ニョロヨ。

佐々木 美穂

椎名桜子著「おいしい水」

余白が多く私には読みやすい。

佐藤 哲也

「Big Tomorrow」

将来大きな人間になりたい人は是非一度読んで下さい。お金持ちになれます。

佐藤 力裕

片岡義男著「ボビーに首ったけ」

内容のことがやりたかったから。

四條 晋一

「an・an」

このての雑誌のなかじゃ一番面白いと思う。

下谷 洋盛

ヘミングウェイ著「ヘミングウェイ短編集」

暇な時や一週間の疲れが残る週末に、大自然の安らぎを与えてくれる。

柴崎一人

西村京太郎著「終着駅殺人事件」

途中で犯人を匂わすが、結末が大ドンデン返し。

鈴木 裕一

「自家用車」

値引き情報満載

高萩 充

落合信彦著「アメリカの狂気と悲劇」

アメリカ人の人種差別、マフィアのしくみがわかるぜ

高原 秀夫

「おい竜馬」

「夏、19歳の肖像」

「おい竜馬」を読むと自分という人間が考えさせられる。

「夏、19歳の肖像」は読んでいる時だけ「夏」になる。

滝沢 智

高橋陽一著「キャプテン翼」

汗と涙と青春の物語。おまわずゾクゾクしてしまいます。ドライブシュート・ファイヤーシュート、すばらしいシュートばかり!!カール・ハインツ・シュナイダーくんを目標にがんばろう!!

田村 整

司馬遼太郎著「北斗の人」

北辰一刀流の流祖・千葉周作の生涯を描いたスペシャルサクセスストーリー!

遠山 昭男
「モーターサイクリスト」
バイクの情報がいっぱい

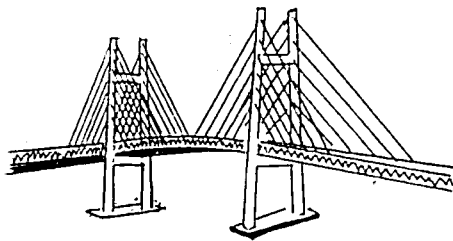
生田目 隆
武田鉄也著「おーい竜馬」
泣けるぜ。

成田 信也
武論尊著「北斗の拳」
察の演劇でケンシローの役を演じたから

長谷川 嘉文
スティーブン・キング著
「スタンド・バイ・ミー」
同名映画の原作

松崎 由美
椎名 誠著「雨がやんだら」
短編集だが、表題作が特におもしろい
です。

皆川 博之
芥川龍之介著「侏儒の言葉」
龍之介の詩的表現が楽しめる本である。



八代 文子
村上 龍著「イコサペディア」上・下
読んでいくうちに本の世界に引き込まれ
てしまう強烈な内容で、女の子より男の子
にお・す・す・めらさず
森 瑤子著「情事」
大人じゃんなあなたに！！
2冊とも図書館にありますので、どうぞ

矢吹 隆行
泉優二著「ウインディー」Ⅰ、Ⅱ
感動のオートバイロマン！！
バイクに乗らない人にも。

渡部 純
「Big Tomorrow」
自分の夢をかなえる雑誌
”私は将来この本のようになる！！”

和知 聡
「土木学会誌」
土木全般の幅広い知識の宝庫です。

お知らせ

リサイクル文庫

すでに600冊以上の本が寄贈され
ほとんどが借り出され、そして戻って
来ません。もう少しリサイクル速度を
上げるのにご協力ください。また、寄
贈図書も最近ではめっきり少なくなりました。部屋の整理、整頓に心がけ、

不要な本は図書係へ

図書館改修計画の あらまし その2

図書館長 小林伸吉



「ビブリア」67号において前図書館長、土居威男先生が紹介された「図書館改修計画」は、予算的にはだいぶ減額されたものの、文

部省によって認められ、一部はすでに実行に移された。以下、すでに実行された分を中心として、その趣旨を説明しておきたい。

今回の改修の目的は、学生の図書館利用率を高めることである。そのための第1の方策は、居住性の向上であるが、それには最初から、建物に手を加えないという条件が付いている。閲覧室が狭く、圧迫感があるということは、従来から問題として指摘されていた。特に、天井が低いことは致命的であるが、これは今更どうしようもない。そこで、これまで何種類か混在していた書架、机、椅子等を本物の木製家具で統一することにより、落ち着いた雰囲気を出すことで心理的に解決することにした。雑誌コーナーのソファも、見かけよりははるかに重く、スチールによる事務用品の軽量化はたいしたものだ、などと逆に感心してしまうほどである。本物の木製家具の落ち着きは、日本人には特にアピールするようで、その重量感がたまらない魅力でもある。これらの備品は春休み中に入ったのであるが、案の定、4月以降の入館者は昨年の同時期を大きく上回っている。

第2の方策は、利用者と図書との一体化である。本を探すために暗い階段を上り下りしなければならないのは、何かを調べようとする意欲を完全にそいでしまう。必要な本が身近にあれば、ずっと便利になる。そこで、ちょうど書庫も満杯になっていたこともあり、学生によく利

用される本は閲覧室に上げることにした。現在6万冊ある蔵書のうち、学生が利用するのはせいぜい1万5千冊程度と試算し、そのための書架を壁面に並べた。本の選定は、先生方と学生諸君にお願いしているが、なかなか書架が埋まらない。特に専門図書が選ばれないのである。そこで重大な事実が判明した。図書館所蔵の専門書の多くが古すぎるため、使いようがないということである。確かに、8ビットパソコンの入門書は今では紙屑にすぎない。専門図書を常に新しいものにしておくことは、予算の問題もあり、決して簡単なことではないが、今後の最重要課題としておきたい。

第3の方策は、私物の持込みである。勉強するためには以外といろいろな小物が必要であり、それらすべてを収納するのがカバンである。ところが現在のところ、カバンの閲覧室持込みは禁止されている。図書の紛失防止のためである。学生を信用していないという不満を耳にしなくてもないが、少なからざる本が行方不明になっている現実がある。そこで、帯出手続きを取っていない本に対してはブザーで警告を発する、book detection system をこの夏休み中に設置することにした。これによって、おそらく来年の4月から、利用者の私物持込み制限を撤廃することができると思われる。

ただし、このシステムを本当に機能させるには、6万冊の蔵書すべてに磁気テープを貼らなければならない。そのためにどのくらいの時間と人手がかかるかまだ判らないが、少なくとも学生が利用しそうな本には、この夏休み中に処理を施したいと考えている。従って、毎年行っている、夏休み中の特別貸出しは、本年に限り、原則として行わないので、ご協力願いたい。どうしても必要な本については、担任または卒研の指導教官を通じて手続きを行って下さい。

AVコーナーの充実、コンピューターによる図書検索、帯出・返却手続きの簡素化、等については次号で解説したい。

新着図書案内

総記

- 東洋文庫 顔氏家訓 1 平凡社
抱朴子 内篇
三宝絵
岩波講座転換期における人間 6 科学とは 岩波書店
8 倫理とは
田中正造選集 4, 6, 7 岩波書店

哲学

- 岩波講座東洋思想 14 中国思想 岩波書店
日本近代思想大系 6 教育の体系 岩波書店
聖フランシスコ・ザビエル全生涯 河野純徳著 平凡社

歴史

- 明治という国家 司馬遼太郎著 日本放送出版協会
東アジアの中の日本歴史 3 織豊政権と東アジア 六興出版
昭和二万日の全記録 5 一億の新体制 講談社
6 太平洋戦争 河出書房新社
図説韓国の歴史 姜徳相著

社会科学

- 現代政治学叢書 5 投票行動 東京大学出版会
7 社会階層と政治
日本経済史 4 産業化と時代 岩波書店
Aタイム 時間管理のスーパーテクニク J.メーン著
T. B. S. ブリタカ
イギリスビジネスタイムシステム社社長が書き下ろ
したセルフマネジメントのバイブル
日本民俗文化資料集成 9 南島の村落 三一書房

自然科学

- 数、数、・・・M.ライズ著 岩波書店
数を1つ考えよう。それが奇数ならば3倍して1を加え、
偶数ならば2で割る。得られた数に同じ操作を何度も繰
り返すとどうなるか。 1, 4, 2, 1, 4, 2, 1, 4, 2, ...
化学者のための数学十講 大岩正芳著 化学同人
パソコンで学ぶ基礎確率・統計 藤崎恒晏 森北出版
情報からみた確率論 松尾博著 森北出版
情報化時代の基礎として必要な知識を、身近な例題を
もちいてわかりやすく解説
高校生のための確率・統計パソコン学習法 涌井良幸他著
パソコンが解く確率の謎 涌井良幸他著 誠文堂新光社
統計処理の手法がよくわかる本 伊藤政志他著 誠文堂新光社
技術評論社
タオ自然学 F.ガウ著 工作舎
科学と神秘主義の境界を超える、ニューサイエンスの
道(タオ)
宇宙を創る四つの力 P. C. M. デイヴ著 地人書館

CHONSの化学 崎川範行著	三共出版
生活の化学 千谷利三他著	三共出版
いのちと暮らしのケミ・ストーリー 近畿化学協会編	化学同人
短大・高専の化学 坂元義男他著	三共出版
化学一般 高瀬慎一郎著	三共出版
化学と生活 宮川雄一郎著	三共出版
化学 大野惇吉他著	三共出版
分子の世界 分子科学研究振興会編	化学同人
自然のしくみ 大阪大学理学部化学教育研究会編	化学同人
化学の理解 岩城良二郎他著	三共出版
化学構造式 丸田銈二郎著	三共出版
化学を楽しくする5分間 日本化学会編	化学同人
無機ファイン材料の化学 中西典彦他著	三共出版
宇宙の風景 M. ロッソ著	地人書館
天文アマチュアのための望遠鏡光学 反射編 吉田正太郎著	
	誠文堂新光社
星百科大事典 R. バーム著	地人書館
目でみる生化 J. エデルマン他著	三共出版
河口・沿岸域の生態学とエコテクノロジー 栗原康著	
	東海大学出版会
食品機能化学 中村良他著	三共出版
人間と環境 近藤雅臣他著	三共出版

工学

構造力学 1 岡村宏一著	鹿島出版会
エネルギーとその資源 崎川範行他著	三共出版
自動制御理論 樋口龍雄著	森北出版
土木工学ハンドブック 土木学会編	技報堂出版
21世紀のあるべき姿を念頭に、6部門65編に再編成、	
土木学会誌・論文報告集総索引	土木学会
土木材料コンクリート 村田二郎他著	共立出版
動的解析と耐震設計 1, 2, 3, 4	技報堂出版
橋梁の景観 松村博著	鹿島出版会
合成桁の理論と設計 島田静雄他著	山海堂
水理学 1, 2 玉井信行著	培風館
生活と環境 岡部昭二他著	三共出版
アナログ・フィルタの設計と解析 堀敏夫著	電波新聞社
論理回路演習 鈴木宣夫著	朝倉書店
情報回路論 1 尾崎弘ほか著	コロナ社
並列計算機 R. W. Hockney他著	共立出版
はじめてさわるパソコンは便利 山田督浩著	技術評論社
パソコン英語事典 久保正治著	技術評論社
入門と実習ニューロコンピュータ 飯沼一元編	技術評論社
デジタル情報回路 清水賢資著	森北出版
デジタル計算回路 垂井忠明他著	朝倉書店
最新はじめてのQuick BASIC 河西朝雄著	技術評論社
最新はじめてのQuick C 安田幸弘著	技術評論社
マクロアセンブラプログラミング入門 吉川敏則著	
	技術評論社
Word Star 4.0 + Twin Star 活用ハンドブック	技術評論社

学習コンピュータアルゴリズム 浪平博人著	技術評論社
BASICからのC入門 竹内銀平著	技術評論社
パソコンPC 98のおもしろ活用ガイド	日本放送出版協会
はじめてのグラフィックス 塩沢政美著	技術評論社
自習TURBOゲームで挑戦TEAMTIPS著	技術評論社
一太郎Ver. 4基本操作入門 TEAMTIPS著	技術評論社
電脳的創造の方法 国井利泰著	日本実業出版社
コンピュータづくりの発想が世界を組み換える	
化学工学入門 解説と演習 岡崎達也編	三共出版

● 芸術 ●

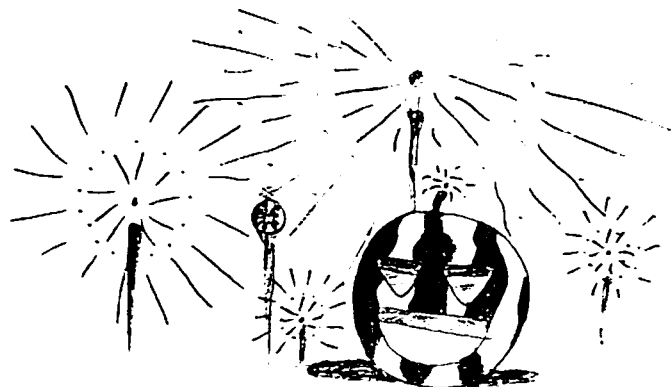
天野喜孝画集 飛天	朝日ソノラマ*
イマジン 天野喜孝著	新書館*
幻夢宮 天野喜孝著	新書館*
Factlily 加藤洋之&後藤啓介画集	富士見書房*
ドトウの笹口組 若林健次著	講談社
建設業界のダーティ・イメージを払拭すべく産学官協力して努力している今日、このコミック漫画を読んだ人々はどんな反応を示すだろうか。土木以外の学生の感想を聞きたい。	

● 語学 ●

ドイツ語初級コース 内藤道雄著	白水社
新聞のドイツ語 伊藤光彦著	白水社
英独比較文法 前島儀一郎著	大学書林
学習ドイツ語文法 温井信正他著	三修社

● 文学 ●

グイン・サーガ1 辺境篇 栗本薫著	早川書房*
タイタニア? 田中芳樹著	徳間書店*
銀河英雄伝説外伝1, 2, 3, 4 田中芳樹著	徳間書店*
上弦の月を喰べる獅子夢枕獏著	早川書房*
パタゴニア 椎名誠著	情報センター出版局*
野上弥生子全集17巻 日記17	岩波書店
エデンの東 J. スティンバック著	早川書房*
悪いこと マリー・ゲイゲル著	早川書房*



平成2年度図書委員

図書館長 小林伸吉 (一般教科)
副館長 *佐藤恭輔 (土木工学科)

委員 坂本 智 (一般教科) 佐藤憲男 (機械工学科)
春日 健 (電気工学科) 大沢英一 (工業化学科)

1 M 藁谷和宏	1 E *小松新一	1 C 澤木慶幸	1 土 横田 貢
2 M *太田淳也	2 E 藤井慎一	2 C 作道昭彦	2 土 渡辺喜徳
3 M *瀬谷正信	3 E 尾澤伸弘	3 C 比佐智徳	3 土 佐竹正行
4 M 瀧 宗大	4 E 遠藤貴子	4 C *海老原淳子	4 土 小野良治
5 M *本多信二郎	5 E 斉藤靖弘	5 C 小沼孝之	5 土 *永島博志

(*印 ビブリア編集委員)

編集後記

- ☆ “改修計画のあらまし”の中で館長が述べておられますが、二階の閲覧室に設置した書架は従来の書庫に比べると広々とした明るく落ち着いた雰囲気の中で本も大変探し易くなっています。
まだご覧になってない方は是非、図書館へ足を運んでみて下さい。
- ☆ 今回は遅ればせながら、去る3月卒業した先輩による“後輩に推す一冊”を特集しました。たとえ細かい内容は忘れ去ってもあの頃あの本と確かに出会ったという、毛穴から浸みこむような読書体験を学生時代にもってもらいたいと願っています。
- ☆ 購入して欲しい図書がありましたら、最寄りの図書委員を通じてあるいは直接図書係に申し込んで下さい。